

パンデミック対策、在宅勤務が手軽に始められる 「CustomerVision どこでも仮想オフィス」を発表（JBAT）

JBCCホールディングス株式会社（本社：東京都大田区、代表取締役社長：石黒和義）の事業会社で、JBグループ(*1)のオリジナルソリューション開発会社である、JBアドバンスト・テクノロジー株式会社（本社：神奈川県横浜市、代表取締役社長：山田隆司、以下 JBAT）は、新型インフルエンザの感染拡大の影響や災害時など、オフィスへの出社が困難な場合でも事業継続をサポートする安心・安全支援ソリューション「CustomerVision どこでも仮想オフィス」(*2)を発表します。

国内でも感染が広がりつつある新型インフルエンザの流行を受けて、今後想定される新型インフルエンザの大流行（パンデミック）や災害時などに備え、社員のオフィスへの出社が困難な状態が続く状況下においても、事業継続できるための対策が急務となっています。

このような背景から、オフィスで社員がパソコンに向かうのと同等の作業環境を社員の“自宅のパソコン”で簡単・安全に構築できる「CustomerVision どこでも仮想オフィス」を最新の仮想技術を用いて開発しました。

「CustomerVision どこでも仮想オフィス」は持ち運びに便利なUSBメモリーの形状で、自宅にあるWindowsパソコンに挿入し、指紋認証後にはセキュアなデスクトップ画面に切り替わり、インターネットを介して会社のパソコンへ接続している仮想クライアント環境（＝仮想オフィス環境）を構築します。

セキュアなオフィス環境を実現するため、USBメモリーを挿入すると、強制的にUSBメモリー上に保管された“許可されたアプリケーション”以外は使用できない状態に切り替わります。また、自宅のパソコンのハードディスクや、USBメモリーにはデータを保管することができません。

「CustomerVision どこでも仮想オフィス」は、JBグループ各社で取り扱い、パンデミックや災害時の他、テレワーク等の業務形態の変化への対応、仮想クライアントシステム構築の一環としてお客様へご提案し、初年度販売目標は5,000本を目指しています。

JBATでは、今後もシステム開発で培ったノウハウを基にお客様のご要望を反映した製品を順次発表していく予定です。

製品の詳細情報はホームページをご参照ください。

http://www.jbcc.co.jp/products/jbcc_soft/magazine/bn/200909.htm

(*1)JBCCホールディングスの事業会社12社をJBグループと総称

(*2) CustomerVisionシリーズは「つなぐ」・「活かす」・「まもる」の3つの視点から以下の7ソリューションにより、お客様の既存情報資産のフル活用を推進しています。

「つなぐ」：情報連携支援ソリューション/アウトプット支援ソリューション/Web化支援ソリューション、「活かす」：意志決定支援ソリューション/プリンティング支援ソリューション/ユーザー支援ソリューション、「まもる」：安心・安全支援ソリューション

<お問い合わせ先>

・報道関係の皆さま

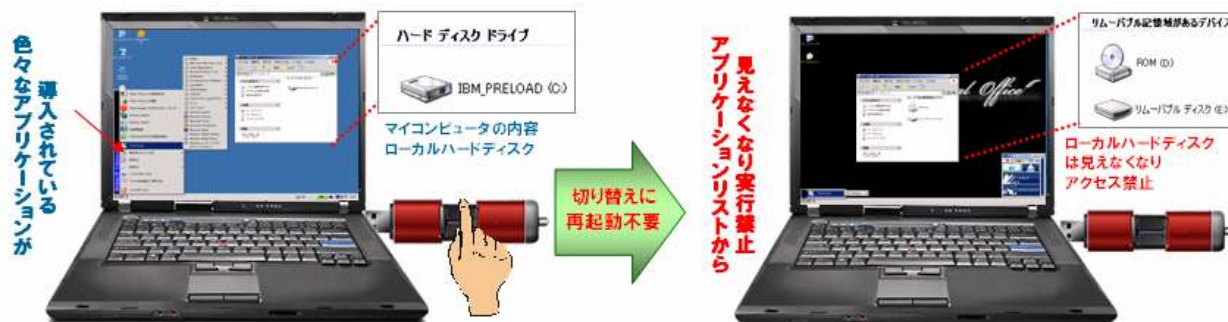
JBCCホールディングス 広報 松尾/村松 Tel:03-5714-5177 e-mail: cv_mail@web.jbcc.co.jp

・お客さま

JBAT ソフトウェア事業部 武田/清田 Tel:045-450-6200 e-mail: js@web.jbcc.co.jp

■ 「CustomerVision どこでも仮想オフィス」の特長

- 1) 使い慣れたパソコンが利用可能
- 2) 利用パソコンの安全性チェック機能とウィルス対策
- 3) セキュアな仮想オフィス環境を実現
- 4) 利用可能アプリケーションの制限機能
- 5) 利用パソコンを仮想クライアント化



「どこでも仮想オフィス」を挿入し、
指紋認証が完了すると

セキュアな仮想デスクトップに切り替わる。

特長

1. 使い慣れたパソコンが利用可能

- ・Windows XP/Vista が動作し、インターネットに接続できるパソコンが利用可能。

2. 利用パソコンの安全性チェック機能とウィルス対策

【USBメモリへの対策】

- ・Autorun.inf(自動起動設定)ファイルのプロテクト機能

【ご利用パソコンへの対策】

- ・ウィルス対策ソフトウェアが導入済みで最新の状態である事。
- ・システムがウィルスやスパイソフトに改変されていない事。

3. セキュアな仮想オフィス環境

- ・作業時のデータは、ローカルハードディスクに残さず保管できない。
- ・接続できるネットワークを制限でき、画面コピーやプリンタ出力を制御し禁止する。

4. 利用可能アプリケーションの制限機能

- ・PCに導入済みの許可されたアプリケーションのみが実行可能。



MS Office、一太郎などWindowsアプリケーション

5. 利用パソコンを仮想クライアント化

- ・RDP (クライアント)対応済み
- ・Citrix (XenDesktop), 2X, VMクライアントサポート予定。

【セミナーのご案内】

新型インフルエンザの感染拡大を受けて、企業がパンデミック時にパニックに陥らないための対策について、基調講演・セッションを通じて、下記のセミナーで詳しくご紹介します。ぜひ、ご参加ください。

Hot Seminar 2009 秋

「迫り来るパンデミックのリスク！ その特効薬とは!？」

東京：10月20日(火) 大阪：10月21日(水) 名古屋：10月22日(木) ※参加費無料

[セミナー詳細・申込] <http://www.jbcc.co.jp/0908/>